

化学物質等安全データシート

製 品 名	エアコン配管洗浄剤			
化学物質等及び 会社情報	会 社 名	有限会社ラグナ		
	住 所	〒745-0868 山口県周南市南浦山町 5-40		
	担当部門	営 業 部	担 当 者	営 業 課
	電話番号	0834-22-7500	FAX 番号	0834-22-7600
	作成日	平成 19 年 8 月 22 日	改 定 日	
組成、成分情報	別紙 1 のとおり			
危険有害性の 情報	分類の名称： 引火性液体、急性毒性			
	危 険 性： 爆発しやすく引火点も低い 有 害 性： 軽度の麻酔作用、刺激性がある。			
応急措置	眼に入った場合	コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。最低 15 分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。		
	皮膚に付着した場合	汚染された衣服、靴などは直ちに脱ぎ捨てる。その後、水又は微温湯を流しながらよく洗浄する。石鹼を用いて十分に洗い流す。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合には医師の手当てを受ける。		
	吸入した場合	患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、毛布等で保温して安静にさせ、速やかに医師の手当てを受ける。 呼吸が停止している場合は人工呼吸を行い、呼吸困難な場合は酸素注入を行う。医師の指導の下に行うことが望ましい。		
	飲み込んだ場合	吐かせようとしてはならない。揮発性の液体なので吐き出させるとかえって危険が増す。水でよく口中を洗わせる。口から何も与えてはならない。嘔吐が自然に起こったときは気管への吸入がおきないように身体を傾斜させる。保温して速やかに医師の手当てを受ける。		
火災時の措置	関係者以外を火災区域から退去させる。 特定の危険性： 不完全燃焼が起こると、一酸化炭素が発生しうる。蒸気は空気よりも重く、地面に沿って広がり、遠隔発火の可能性がある。 消化剤： 粉末、泡（耐アルコール泡）、二酸化炭素 追加情報： 周辺火災の場合、周辺の設備などに散水して冷却する。又、移動可能な容器は、安全な場所へ速やかに移す。 消火を行う者の保護： 自給式呼吸器等の保護具を着用する。			

<p>漏出時の措置</p>	<p>人体に対する注意事項：作業の際は保護具を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないように注意する。</p> <p>環境に対する注意事項：下水に流さない。</p> <p>除去方法： 少量の場合 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させ密閉できる容器に回収する。</p> <p>多量の場合 盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。 この際、下水、側溝等に入りこまないように注意する。</p> <p>二次災害の防止策：危険がなく、可能な場合には漏出を止める。 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。 漏出した場合の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。</p>
<p>取扱い及び 保管上の注意</p>	<p>取扱い上の注意</p> <p>吸入を防ぎ、眼、鼓膜、皮膚との接触は避ける。必要に応じ適切な保護具を着用し風上から作業する。作業環境を許容濃度以下に保つ。 室内での取扱いの場合は発散源の密閉化又は局所排気装置を設置する。 取扱い後は手洗、洗顔を十分に行い衣服に付着した場合は着替える。 漏れ、あふれ、飛散を防ぎ、蒸気を発生させない。 極めて引火し易いため、火気、火花、アークを発生するもの又は高温点火源を付近で使用しない。 取り扱い場所で使用する電気機器は防爆構造のものとし、機器類には静電気対策を行う。</p> <p>保管上の注意</p> <p>使用済容器は一定の場所を定めて保管する。 容器は直射日光を避け、通風の良い、冷暗所にて保管する。 保管場所は火気厳禁とする。 酸化性物質、有機過酸化物と同一の場所で保管しない。</p>

<p>暴露防止及び 保護措置</p>	<p>管理濃度及び許容濃度については別紙 1 のとおり</p> <p>設備対策</p> <p>屋内作業場での場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。</p> <p>取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。</p> <p>保護具</p> <p>有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴</p>	
	<p>状態</p>	<p>固体 []、液体 [○]、気体 []</p> <p>外 観 : 無色透明 臭 気 : 石油臭</p>
	<p>沸 点 : 61℃～82℃</p>	<p>蒸気圧 : 未測定 Pa (°C)</p>
	<p>密 度 (比重) : 0.67</p>	<p>溶解度 : 水に不溶</p>
	<p>その他 :</p>	<p>別紙 2 のとおり</p>
		<p>引火点 : -20℃ (参考値) 発火点 : 280℃ (参考値)</p>
		<p>爆発限界 : (下限) 1.2% 、 (上限) 7.7% (参考値)</p>
<p>安定性及び 反応性</p>	<p>安 定 性</p> <p>反 応 性</p>	<p>通常の手扱い条件においては安定である。</p> <p>データなし</p>
<p>有害性情報</p>	<p>別紙 3 のとおり</p>	
<p>環境影響情報</p>	<p>別紙 3 のとおり</p>	
<p>廃棄上の注意</p>	<p>取扱及び保管上の注意の項の記載による他、引火性液体類に関する一般的注意事項による。</p> <p>廃棄する場合は焼却によって行い、方法はいずれかによる。</p> <p>おが屑、ウエス等に吸収させて解放型の焼却炉で焼却する。</p> <p>焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。</p>	

輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号	1993
品名	その他の引火性液体（他の危険性を有しないもの）
国連分類	3
副次危険性	-
容器等級	II

海上輸送（IMO の規定に従う）

国連番号	1993
品名	その他の引火性液体（他の危険性を有しないもの）
国連分類	3
副次危険性	-
容器等級	II
海洋汚染物質	該当する
IBC コード	該当しない

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

国連番号	1993
品名	その他の引火性液体（他の危険性を有しないもの）
国連分類	3
副次危険性	-
容器等級	II

国内規制

陸上規制情報	消防法、道路法に従う
海上規制情報	船舶安全法に従う
海洋汚染物質	該当する
航空規制情報	航空法に従う

取扱及び保管上の注意の項の記載による他、消防法により第 1 類及び第 6 類との混載禁止車輛等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書（イエローカード）を交付する。

容器の破損、漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

適用法令	消 防 法 労働安全衛生法 危険物第 4 類第 1 石油類 《非水溶性液体》 危険物 引火性の物 施行令第 18 条 名称等を表示すべき有害物 第 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物(MSDS 対象物質) 危険物船舶運送及び貯蔵規則 引火性液体類
その他の情報	
注 意 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので取扱いには十分注意して下さい。	

化 学 名	イソヘキサン	イソプロピルアルコール	
含有量 (wt%)	90～99	5～10	
化 学 式	C_6H_{14}	$(CH_3)_2CHOH$	
官報公示整理番号	2-6	2-207	
CAS No		67-63-0	
労働安全衛生法 施行令第18条の2 (名称等を通知すべき有害性)	○	○	
P R T R法	非 該 当	非 該 当	

管理濃度及び許容濃度

成 分	イソヘキサン	イソプロピルアルコール	
管理濃度 (ppm)	40 ppm (n-ヘキサン参考値)	200	
許容濃度 (ppm) (日本産業衛生学会勧告値)	40 ppm (n-ヘキサン参考値) (140 mg/m ³)	400	
ACG1H (ppm)	TLV-TWA 50 ppm	TLV-TWA 200	

物理及び化学的性質

成 分	エチルアルコール	イソプロピルアルコール	
外 観	無色透明な液体	無色透明な液体	
比 重 (20℃)	0.635～0.675	0.7863	
沸 点 (℃)	60～63	82.4	
融 点 (℃)	測定値なし	-89.5	
蒸気圧 kPa	44.1 (37.8℃)	4.4 (20℃)	
蒸気密度 (空気=1)	2.99	2.07	
溶 解 度	エーテルに可溶	水に可溶	

		イソヘキサン	イソプロピルアルコール	
引火点 (°C)		-20 以下	11.7	
発火点 (°C)		280	460	
爆発限界 vol%	下限	1.2	2.02	
	上限	7.7	7.99	

有害性情報

	エチルアルコール	イソプロピルアルコール	
急性毒性	※ マウス (経口) LD50 20~30 g/kg ※ ラット (経口) LD50 >5000mg/kg	ラット (経口) LD50 5,045 mg/Kg ラット (吸入) LG60 (8H) 16,000 ppm	
変異原性		Ames 試験 陰性 染色体異常試験 知見なし	
発癌性		IARC分類 3	

※ 2-メチルペンタン 97%のヘキサン混合物のデータ

環境影響情報

	エチルアルコール	イソプロピルアルコール	
魚毒性	水生生物に有害 LD50/96h 1000mg 以上/1	ファットヘッドミウ LG50 (96h) 10400mg/L オオミシシノコ EC50 9714ppm	
分解性		易生分解性	